（様式第１号の３）

脳損傷者用
（高次脳機能障害用）

重 度 後 遺 障 害 診 断 書

フ リ ガ ナ 障害者氏名		男・女	生 年 月 日	大正・昭和・平成・令和 年　月　日
住　　所	〒		事故年月日	大正・昭和・平成・令和 年　月　日

下記の①～⑧について、該当する状況を１つ選び、□にレ点を付けて回答して下さい。

① 記憶障害（知識）	□ 記銘・想起できず、理解・判断力が全くない □ 数分前のことも忘れる健忘状態 □ 新しいことを学習できない □ 記憶障害があっても、日常生活に重大な支障はない
② 認知障害（知能）	□ 介護者と有効な意思伝達ができない □ 家族（介護者を含む）以外の他人とは意思伝達ができない □ 簡単な情報収集はできるが、理解力・判断力が乏しい □ 記憶力・判断力・集中力の低下はあっても、日常生活に重大な支障はない
③ 情動障害（陽性）	□ 他人に対して暴力などの他害行為が止まらない □ 幻覚や妄想などによる問題行動が続く □ 他人に対し大声・暴言などの言動が多い □ ときどき怒りっぽいなど、言動が不安定である
④ 情動障害（陰性）	□ 極端な無為・無関心で寝たきりの状態 □ うつ状態で積極的行動はみられない □ 他人との対応で場にそぐわない非協力的態度を示すことがある □ 複雑な作業にも、指示すれば、気分むらを見るが、こなせる
⑤ 見当識障害	□ 見当識障害があり、自力での外出は不可能 □ 独り歩きは困難あるいは危険で、付き添いが必要 □ 独りでも近所の外出は可能 □ 独りでも外出が可能
⑥ 摂食障害（意欲）	□ 摂食意欲なく経管栄養を要する □ 常に介助を要する □ 指示を与えれば摂食できる □ ほぼ自立している
⑦ 遂行機能障害 （意欲・注意）	□ 課題を与えられても遂行する能力が全く認められない □ 課題の手順が理解できず頻繁な指示が必要 □ 課題の手順を理解するためにたまに助言が必要 □ 複雑な課題でなければ理解して実行できる
⑧ その他	□ 入院加療を要する □ 常時介護を要する □ 随時介護を要する □ 特記事項なし （　　）

上記のとおり診断します。

令和　　年　　月　　日　　病院又は診療所の名称

所　　在　　地

診療担当科・医師氏名　　科　　㊞

（日本産業規格Ａ列４番）